

1. 研究課題名：D-1008 生物多様性情報学を用いた生物多様性の  
動態評価手法および環境指標の開発・評価

2. 研究代表者氏名及び所属：  
伊藤 元己（東京大学）



3. 研究実施期間：平成22～24年度

#### 4. 研究の趣旨・概要

生物多様性条約は、生物多様性の損失速度を減少させるという目標を持つが、日本では情報の公開と集積が不十分な点や、各生物種の減少率などの生物多様性動態推定法が確立していないため、現時点では十分な生物多様性の科学的評価が困難である。

本研究では生物多様性情報の集積と統合データベース化、異なるスケール・方法で得られた生物多様性情報の解析とモデル化を行うことにより、確度高い生物多様性評価が可能になるような手法を確立する。

本研究の成果は、生物多様性条約の目標達成状況の検証に利用でき、生物多様性政策を決定するのに役立つ。さらに、他の国や地域でも利用できるため、地球全体の生物多様性評価を通じて国際的な地球環境政策への貢献が期待できる。

#### 5. 研究項目及び実施体制

- ①生物多様性情報総合基盤システムの作成と分布推定（東京大学）
- ②森林生態系の生物多様性情報の集積・各生態系の生物多様性環境指標作成・評価（独）森林総合研究所）
- ③農業生態系の生物多様性情報の集積・各生態系の生物多様性環境指標作成・評価（独）農業環境技術研究所）
- ④陸水生態系の生物多様性情報の集積・各生態系の生物多様性環境指標作成・評価（九州大学）
- ⑤リモートセンシング情報の集積と複合環境の指標作成・評価（独）国立環境研究所）
- ⑥生物多様性予測モデルの作成・解析（横浜国立大学）

## 6. 研究のイメージ

